

第 6 回宇宙産業部会 議事要旨

1. 日時：平成 26 年 2 月 28 日（金） 16:00 - 18:00
2. 場所：内閣府宇宙戦略室大会議室
3. 出席者
 - (1) 委員
中須賀部会長代理、池上委員、白地委員、谷所委員、西村委員、仁藤委員、目崎委員、山川委員
 - (2) 事務局
西本宇宙戦略室長、中村宇宙戦略室審議官、頓宮宇宙戦略室参事官、前原宇宙戦略室参事官
4. 議事要旨
 - (1) 宇宙産業部会の今後の検討の進め方について
事務局から資料 1 に基づいて説明し、資料 1「宇宙政策委員会 宇宙産業部会の今後の進め方（案）」については、部会として了承された。
 - (2) 宇宙産業政策の現状と課題について
 - (3) 宇宙産業のビジネス環境整備について
 - (4) 宇宙関連産業の状況と今後について
議題（2）について経済産業省から、議題（3）について日本航空宇宙工業会からヒアリングを行い、議題（4）について西村委員から意見提出があった。
これを踏まえて、委員から、以下のような意見があった。
 - 宇宙利用に係る国内民需は地上インフラと競合。需要開拓のためには、地上インフラが未整備の途上国に対し、パッケージソリューションとして提供することが有効ではないか。
 - 海外展開にあたっては、まずは国内で整備・実証し、それを海外に展開していくべきではないか。
 - 官需をより効率的に使い、そこをベースにして民需開拓に努める必要がある。
 - 宇宙利用を拡大するうえで、宇宙特有の強みを活かす必要がある。その点で、現状では、宇宙技術に対する地上システムとの連携が不十分である。例えば、測位や環境観測等をはじめとした各種衛星データを、スマートフォン等に即時に情報を提供するなど、新たな宇宙利用拡大の可能性を見いだしていくことが重要。
 - 宇宙機器産業の成長のためには、宇宙利用のニーズの特定や、宇宙利用に対するニーズを拡大するような技術開発が有効ではないか。
 - 宇宙利用に対するニーズが、どのくらいの市場になるのかを正しく把握することが、商業化のためには必要。また、そのような役割を担うプレイヤーの育成も重要。

以上